

1. ごみの分別方法の見直しに関する意見

①プラスチック類の焼却、収集回数等について(P11、16)

No	枝	内容(全文)	考え方(審議会)	考え方(市)
4	1	<p>ごみ収集に関する見直しについての意見をお送りします。</p> <p>1. 分別方法の見直しについて プラスチックの分別方法など、実態に合った見直しに賛成します。分別を意味あるものとするためにも、区分変更の理由を広報誌で周知してください。リサイクル率を高めるだけでなく、そのためのコストに見合ったリサイクル処理であるかを専門家を交えて検討してください。</p>	<p>分別の見直しの目的は、答申素案に記載しましたとおり①市民に分かりやすい名称とする。②資源化がより推進できるような分別とする。③処理の適正化・効率化を図るために実施するものですが、実施するまでに住民説明会や広報等により周知するよう市に提言します。リサイクル率を高めるためには、リサイクルできるもの、できないものをきっちり分別していただくことにより、処理のコスト軽減が図れ、資源化が進むと考えます。また、プラスチック類や金属類等の分別見直しによってリサイクルの効率的な処理が図れると考えます。</p>	
35	1	<p>1. 分別方法 1) 焼却ごみ類にプラスチックを入れることについて焼却可の理由をよく説明する。 2) 新区分の②～⑤、⑨はリサイクルごみであるから、特に③のプラスチックは従来の認識で分別したのでは、ほとんど焼却ごみになってしまう。リサイクルの質の向上のため異物混入と洗浄について改めて注意徹底をPRする。</p>		<p>ごみ焼却施設につきましては、大規模改修等を実施により、現在は、プラスチック等を燃やしても、環境上問題のない機能を有しています。また、現在、プラスチック類は、収集後、資源化できるものとできないものを選別し、資源化できないものは、減容固化し埋立処理していますが、最終処分量を減らすためにも分別や処理方法を見直す必要があると考えます。なお、新たな分別内容については、住民説明会、広報くさつ等を通して周知していく考えです。</p>
77	1	<p>いつも大変お世話になりありがとうございます。ごみ分別と、処理費用の住民負担について意見を述べます。 ・分別方法の見直しについてはわかりやすくなっており、賛成です。プラスチックごみの収集回数を週1回にするなどさらにご検討下さい。</p>	<p>今回のごみの分別の見直しは、市民の生活様式に応じた分かりやすい名称にすること、資源化がより推進できる分別とすること、市のごみ処理体系に合致し、処理の適正化と効率化が図れるように見直しました。 プラスチックの収集回数を増やすことにつきましては検討するよう市に提言いたします。</p>	

2. ごみ処理費の住民負担のあり方に関する意見				
(1) 現在の制度における問題点について				
① 町内活動のメリットになるごみ袋販売(配布)システム、収集方法等について(P8)				
6	3	<p>ごみ減量化は分別、資源化、その他の地道な取り組みが絶対必要だ。それには町内会などの地域活動が絶対必要だ。ごみ袋を町内会から無料配布することで町内会の強力な求心力の基盤になっている。ゴミ袋有料なら町内会に入る必要ないと思える人も相当多い。現在でも集積場整理、分別指導、ポイ捨て整理など町内会はそうとうな力を入れている。また、防災防犯活動、高齢化にともなう地域ネットワークなど、今もこれからもっと地域活動を強化して行く必要に迫られていると考える。ごみ問題などは特に町内会などの協力が必要なのに基盤を弱める行為はまったくもって言語道断だと言える。</p>	<p>単純従量制になりますと、町内会からごみ袋を配布される今のシステムを変えることになるかもしれませんが、市民の皆様には御理解が得られるよう十分な周知徹底を図ることを提言します。今後、市自治連合会からも御意見をいただき配布(販売)システムを検討したいと考えます。</p>	<p>現在の無料のごみ袋の配布制度がなくなると、町内会の加入率が低下するとの御意見かと思われますが、審議会の提案にありますように、実施する場合は、市民の皆様には御理解を得られますよう十分な周知徹底を図ります。市自治連合会の御意見もいただき周知徹底したいと考えます。</p>
18	1	<p>この度の「ごみ処理費の住民負担の見直し」について費用負担が負担となり指定ごみ袋を購入しない人や悪意で指定ごみ袋を使用しない人が一人でもいた場合には、地元自治会員が処理しなければならないことから、自治会に負担がかかる。具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指定ごみ置き場や道路端に、指定ごみ袋以外の適当な袋でごみを放置した場合に分別して処理する負担 2. ごみ回収日の外、ほぼ毎日ごみ放置を監視する負担 3. 放置ごみをめぐっての住民間に発生するトラブル処理等つきましては、「最低限度での一定枚数は無料配布」が望ましいのではないかと思います。 	<p>放置ごみ処理に必要な最低限度での一定枚数の無料配布については、町内会等のボランティア清掃と同様に検討するよう市に提言します。また、ごみ袋の価格は、単純従量制を実施している自治体の事例を基に、ごみの減量や分別意識の効果があると考えられる金額を設定しましたが、社会経済情勢を判断して設定するよう提言します。</p>	<p>実施する場合には、1年程度の周知期間を設け、住民説明会の開催等で、放置ごみ等の不適正排出の防止を徹底します。</p>
35	2	<p>2. ごみ処理費の負担</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 原則、新方式に賛成 2) 袋の配布については、自治会で1～2割の量を保管し、市民センターへ出向けない人達への便宜を計る。 	<p>単純従量制になりますと、町内会からごみ袋を配布される今のシステムを変えることになるかもしれませんが、町内会での配布(販売)システムを継続していただければ、そのシステムの併用についても、市自治連合会からも御意見をいただき配布(販売)システムを検討したいと考えます。</p>	<p>ごみ袋の配布(販売)方法は、市民の皆様が身近な場所で、夜間でも購入できる利便性や町内会での経理の煩雑さを考慮し、市内のスーパーマーケットやコンビニエンスストア等の店舗で販売することで検討する予定をしています。</p>

(2)手数料の課金方式(負担方式)について

①無料配布の継続、無料配布枚数の見直しについて(P10)

16	11	<p>見直しによって負担のかかるのは市民です、負担を軽くして以下のように市民の認識と近畿圏、隣県の様子を見ながら有料に変えていくほうが良いと思います。すがなかなかむずかしいと思います。市民が守れるかの問題です。家族人数分で枚数を決めるとしたらどうなるかなあ。不公平感でそんなに思いません。</p> <p>焼却ごみ類 無料・40ℓ 現在の袋 又は無料・30ℓ 10ℓ少ない袋にする。プラスチック製容器類 無料・60ℓ 現在の袋 又は無料・50ℓ 10ℓ少ない袋にする。(小袋の場合、袋の配布は3ヶ月毎にする、3ヶ月で2枚か5枚か不足分は買って頂くシステムにするのです。10ℓ少ない分袋の価格を見直す。)その他9類は見直し通りでいいと思いますが、多くの市民の声を参考にして下さい。小型破碎ごみ45ℓで50cm角が入りますかいかがでしょう？</p>	<p>世帯の人数に応じた無料ごみ袋の配布となりますと、現在の一定枚数を配布している方法よりも、配布の手間やコストがかかってしまいます。しかし、現行制度(超過従量制)でも、無料配布枚数の削減等でごみ減量化のインセンティブが働くような見直しの検討も必要かと考えます。また、ごみ袋の規格等は、検討したいと思います。</p>	
26	1	<p>分別の方法を見直すことは良いことだと思いますが、1枚目からの住民負担はどうかと思います。</p> <p>現在ごみ袋を配布をしている範囲内で終わらそうと思うこと自体、ごみの減量を意識していることだと思います。だから、いきなり配布をなくすのではなくて、段階的に配布枚数を減らすようにすればいいと思います。そうすれば1枚あたりの価格は、多少高くてもいいですが、配布枚数を0にして、1枚の価格が50円では家計に負担がかかりすぎると思います。</p>	<p>現行制度は、世帯人数にかかわらず一定枚数を配布していることから、ごみ減量に努力しても世帯人数が多い世帯ほど負担が増え、単身世帯では努力せずにほぼ無料でごみを出せることになり、不公平感が残ります。不公平感を少なくするには、世帯の人数に応じた無料ごみ袋の配布となりますが、現在の一定枚数を配布している方法よりも、配布の手間やコストがかかってしまいます。しかし、現行制度(超過従量制)でも、無料配布枚数の削減等でごみ減量化のインセンティブが働くような見直しの検討も必要かと考えます。</p>	

②課金媒体をシール方法にすることについて(P9)

33	1	<p>答申案を読んでいると数々の矛盾が現われている。この内容で、単に有料化する、というのは到底受け入れられない。また、ゴムや容器以外のプラスチックを焼却するというのは妥当な判断であり、運用で即実施を呼びかけるべきである。</p> <p>なお、費用負担については、ごみの適正処理とコストダウンにより内部努力を行うことを前提として、それでも負担が必要であれば、答申案を読む限り、シール方式が妥当であると思える。</p> <p>その理由は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布の負担が小さい。 ・指定袋は、捨てるためだけに用いられるものであり、指定袋そのものが不要なごみである。レジ袋であれば、買った物の運搬に一度使われており、焼却しても問題ないものである限り、かえってごみ減量につながる。 ・配布については、選挙のように、各世帯に、人数に応じた引き換え券を送付し、市役所その他指定の場所で引き換えることにすれば、諸経費が節約できる。また、世帯人数も容易に把握できる。 ・シールを確認するのが面倒である、というのは、市の論理である。また、指定袋に慣れているから継続、というのでは、新しいことへの挑戦をあきらめていて、それではいかなる改善もできない。 	<p>現行制度の超過従量制を維持しながら、有料化にはシール方式が妥当との御意見かと思いますが、シール制は、指定袋制に比べ流通、保管にかかるコストが低く抑えられ作成費において経費的に有利と思われる。しかし、指定袋でなくレジ袋等の自由袋にしますと、排出されたごみ袋のサイズに合ったシールが貼ってあるかどうかの確認に手間を要し、収集の作業効率が悪くなることはかえって経費が増えることとなります。また、世帯人数に関係なく一定枚数の指定ごみ袋を無料配布しています現在の方法に代えて、世帯人数に応じて配布する場合は、一定枚数よりも不公平感は少なくなりませんが、最も効果的に減量へのインセンティブが働き、かつ不公平感も少なくなる配布枚数の設定が困難かと思えます。現行の制度(超過従量制)は、無料配布のごみ袋が不足(超過)した場合は、ごみ袋代に処理費の一部を加算した状態で販売していることから分かりやすく、また、市民に浸透している仕組みといえます。また、現行の方式を大きく変えることなく移行できることから、シール化に切り替える経費が必要なくなります。</p>	
----	---	--	---	--

(3)有料化のごみの種類について

①陶器、ガラス類、破碎ごみ類の取扱いについて(P11)

15	2	<p>陶器・ガラス類、破碎ごみ類は、今まで無料だったのになぜ袋が必要になったのか。今までのように無料でいいと思う。</p> <p>何種類ものゴミ袋を置いていくとややこしいことにもなります。</p>	<p>ごみの有料化の基本的な考えは、ペットボトル等の資源ごみ(プラスチック製容器包装類のごみ除く)は、再利用しますので、無料としますが、焼却・破碎処理し最終処分場に埋め立てるごみ等については、処理経費の一部を負担していただきますので有料となります。従いまして、有料の指定ごみ袋を使っていただくこととなります。</p>	
27	2	<p>破碎、陶器等を有料の袋に入れるのは反対です。減量につながるでしょうが、中身が見えず種類の間違った物が入られる方の手間(分別)がかかる気がします。</p> <p>うちはマンションですので、清掃の方が今はコンテナの中身を見て違う物はより分けて下さってます。これが袋だと見えなくなり全部、センターへそのままいのでしょうか。少しでもビニール袋は減らすことにもなると思うのですが。</p>	<p>指定袋の材質・規格については、答申提出後、市が決定しますが、排出者がごみに責任を持っていただき、分別を守っていただくためにも中身が見える袋が望ましいと考えます。指定袋がごみになるとのことですが、正確に分別しやすく市民が慣れている指定袋の制度が望ましいと思えます。</p>	

②ペットボトル類の取扱いについて(P11)			
27	1	・ペットボトル類が無料ということは、直接今までの缶やビン類のようにコンテナに入れるということですか？賛成です。	収集方式については、答申提出後、市が決定しますが、中身の見える任意の袋が望ましいと考えます。
(4)袋の料金水準および規格について			
76	3	それよりも100円、200円を一年、二年でも遅くする手立として、指定ゴミ袋に企業コマースを募集して費用を捻出する。又、町内会の配布手数料を廃止する。役員の皆さんは一年間ボランティアで動いておられるのですから理解は得られると思う。今一度検討して下さい。	経費節減と新しい財源の確保については、今後調査研究してまいります。
89	1	いつもお世話になっております。パブリックコメントについて意見を述べます。 ごみ処理費の住民負担として単純従量制による有料化とするのは賛成なのですが、ゴミ袋の値段が高すぎます。 通常市販品は1枚10円であり約5倍ほどの価格です。市民生活を無視した価格設定だと感じました。 まずは、ゴミ袋製造・販売にかかる原価から価格設定するのが筋ではないでしょうか？ 例えば、現在世帯数：48,531世帯、燃えるごみ袋：104枚/年として草津市で使用される1年間の燃えるごみ用袋の枚数は 48531世帯×104枚=約504万枚になります。 資料に有るゴミ袋の製造・販売コストは5780万円ですから、1枚の原価は約12円です。1円単位は半端なので10円単位に切り上げ、20円とするのが妥当だと思います。 市民の猛反対で頓挫するような素晴らしい制度より、地味でも市民からの理解が得られ、継続可能な制度を是非検討ください。 ごみを減らそうという取り組みは素晴らしいと思います。ごみの継続的な減量を是非、実現させましょう。	指定ごみ袋の価格には、ごみ袋の製造価格だけでなく、ごみ処理費の手数料を含めています。これはごみ処理費用の全額を市税で賄うことは、ごみを出す量に応じた負担となっていないために、ごみ処理費の負担の公平性の確保の点から、ごみ処理費の一部をごみ袋の購入時に負担してもらう単純従量制が望ましいとし、ごみ袋の価格は、単純従量制を実施している自治体の事例を基に、ごみの減量や分別意識の効果があると考えられる金額を設定しました。価格は、社会経済情勢を判断して設定するよう提言します。

117	3	<p>(3)価格の算定では1袋145円となっていますがスーパーでは〇〇市指定のものが10枚/45ℓ/158円、10枚/30ℓ/108円、10枚/20ℓ/98円で売られています。また、100円ショップでは15枚/45ℓ/105円です(ただし質的な問題はあると思いますが、1年間物を入れて外に置いて風化してません)。現在配布されている袋の大きさではごみ出しの時、月曜日は大体いっぱいですが、木曜日は半分ぐらいです。(ただし我が家では)したがって見直し案のように小さい袋をもうけることはよいと思います。ただし15ℓでは小さすぎると思います。また、袋の半数は小さくてもよいと思います。住民負担以前に価格や容量について試行する等、ご一考をお願いします。</p> <p>以上いろいろとわかったようなかわらないようなことを申し上げましたが、本見直しの素案もやがては必要かと思えます。一市民としてごみの現状を見ると増えなくても減ることはないと思えます。出来るだけ住民負担が少なく成るよう再度ご検討をお願いします。</p>	<p>ごみの処理費用は、ごみ袋の作成だけでなく、収集運搬や焼却等の処理の費用があり、1kgあたりに換算しますと32.3円/kgで、ごみ袋1袋(45ℓ)に換算すると145円の処理費用になります。ごみ袋の価格は処理費用の1/3程度に設定し、50円/枚(45ℓ)、17円/枚(15ℓ)としたものです。ごみ袋の価格に処理費用を含めましたのは、ごみ処理費用の全額を市税で賄うことは、ごみを出す量に応じた負担となっていないために、ごみ処理費の負担の公平性を確保するために、ごみ処理費の一部をごみ袋の購入時に負担してもらうものです。ごみ袋の価格は、単純従量制を実施している自治体の事例を基に、ごみの減量や分別意識の効果があると考えられる金額を設定しましたが、社会経済情勢を判断して設定するよう提言します。御提案のごみ袋の容量や種類についても、市民の皆様が利用しやすいように検討したいと考えます。</p>	
-----	---	--	--	--

(5)有料化(単純従量制)による効果について

①不法投棄、不適正排出、野焼きの対策について

3	1	<p>広報『くさつ』に記載されていた【ごみ処理費の住民負担の見直し】について意見を述べさせていただきます。</p> <p>ごみに対する減量意識や処理の費用負担に対する関心が高まらないことを理由に有料化へ移行されるとの事ではありますが、有料化を実施すれば、モラルなき者が不法投棄等の行動に走り、地域の美化が著しく低下することが懸念されます。</p> <p>無料配布だからこそ、モラルなき者でも所定の場所にゴミを出す方が多いと思います。</p> <p>現状、ゴミを誰が出したのか不明であり、また迷惑ゴミを誰が出したのか徹底追求することをしていないため不法投棄の歯止めはできないでしょう。</p>	<p>ごみの不法投棄は、現在でも大きな問題となっています。ごみ袋の単純従量制の導入で、不法投棄が増加することも懸念されますことから、その対策を講じるよう市に提言します。</p>	<p>ごみの不法投棄対策としましては、定期的に市内を巡回パトロールし、ごみの回収、投棄者の発見や指導に努めています。併せて、市自治連合会にも不法投棄監視パトロールをお願いし、通報があれば迅速な対応を心掛けています。さらに、平成21年度からは、市の専任職員が毎日、市内を巡回し、不法投棄の防止や、監視、指導体制を強化します。また、悪質な不法投棄については、警察と協議し、刑事告発をしていきます。</p>
80	5	<p>ゴミの出し方一つ取っても、ルールが守られておらず、酷い出し方をされている方がいます。ゴミ袋の有料化はこれらを益々増やし、町内会の一部役員に負担をかける事になります。これは、如何お考えでしょうか？</p>	<p>分別が悪い、収集日を守らない等の不適正排出については市に対策を取るよう提言します。</p>	<p>実施までに、1年程度の周知期間を設け、住民説明会の開催等で、不適正排出の防止を徹底していきます。さらに平成21年度からは、市の専任職員が毎日、市内を巡回し、不適正排出の防止や、監視、指導体制を強化します。</p>

104	2	2. 池の土手とか畑での野焼きが増加し、環境汚染が心配です。	自家焼却については市に対策を取るよう提言します。	自家焼却については、法律で禁止されていますので啓発するとともに、見つけた場合は指導していきます。
②有料化以外の減量化施策について ③古紙類等の資源化促進対策等について				
21	2	今般新規に古紙の分別も追加され市民への役割を増加させて、行政として資源売却によるメリットを市民に知ってもらわなければならない。	ごみ分別見直しによる資源物等の収入についても、その内容及び用途について市民に公開するよう市に提言します。	
63	1	ゴミ袋有料化反対。有料でゴミは減らない。処理施設の増強(リサイクル代)、分別回収の増強(資源化)でゴミを生かす事をすべきである。	現在は、有料のごみ袋を一定枚数以上とする制度(超過従量制)ですが、有料のごみ袋の販売枚数は、無料配布を含めたごみ袋全体の3%しかなく、ほとんどが無料のごみ袋で足りているために、ごみ減量に対するインセンティブ(動機付け)が働きにくいので、よりインセンティブが働くように、市民の皆様にごみ処理費の一部を負担してもらって単従量制にするものです。既に単従量制を実施している自治体の事例のように減量が図れるものと考えています。また、ごみの減量化を進めることについては、有料化だけに頼ることなく、家庭用生ごみ処理容器の普及や地域団体が行う資源回収活動などのごみの排出抑制への取り組みを支援していく必要があります。処理施設の件については、今後、市が対応していくべきものと考えます。	ごみの処理施設につきましては、今後、整備すべき時期がきたときに、適正な処理ができ、よりリサイクルが推進できる施設となるよう計画してまいります。
71	3	その他には、生ゴミ処理機普及への助成金の増額や、市からのレンタルという方法はどうか？ご検討、宜しくお願いいたします。	ごみの減量化を進めることについては、ご指摘のようにごみの有料化だけに頼ることなく、あわせて家庭用生ごみ処理容器の普及や地域団体が行う資源回収活動など、ごみの排出抑制への取り組みを支援していく必要があります。	家庭用生ごみ処理容器は購入補助制度は継続していきますが、より市民の皆様が活用しやすい制度となるよう検討いたします。

92	2	<p>その2:古紙類が新規に区分けされましたが、当地(〇〇町)では子供会の活動が盛んで集荷などリサイクルへの取組みがスムーズで助かっています。飲食用パックだけの表記ではなく(牛乳やジュース類)と具体性をもたせて下さい。判別のむづかしい容器が生活の多様性で出てくると思いますので、食品の外装箱のところに、ティッシュペーパーの外箱も念を入れて記入して下さい。それから書籍、雑誌は集荷後、何らかの活用が出来るのでしょうか?雑誌は単なる消耗品としてリサイクルに回されて然るべきと思いますが。書籍は文化財としての利用価値が高いので地域活性知的財としての利用法を考えていただければと愚考しますが・・・?</p>	<p>ごみ分別見直しによる新たな分別内容の啓発については、実施段階までには市民への啓発を徹底するよう提言します。</p>	<p>新たな分別を実施するまでに、町内会への説明会の開催及び、広報くさつによる啓発や各家庭に詳細なごみ分別の分類表を配布したいと考えています。 文化的価値の高い書籍等の再活用につきましては、市立図書館までお問い合わせください。</p>
119	2	<p>単純従量制について 家庭ごみは食品や商品の購入によって発生します。ごみ袋の無駄をするためにわざわざごみを作りません。毎日の生活によってできるものです。ごみは、利用側、購入側だけでなく生産側、販売側にもごみの減量を働きかけてください。現在配布されるごみ袋でまかなえるようにとスーパーのトレー回収、牛乳パックの回収など努力しております。</p>	<p>平成12年に「循環型社会形成推進基本法」が制定され、循環型社会を目指すこととされ、この考え方にに基づき、容器包装リサイクル法、家電リサイクル法などのリサイクルの仕組みづくりが整備され、製造事業者等にも一部負担を求め、各種のリサイクルが進められています。 しかし、リサイクルの仕組みづくりは、まだ特定の業種だけに限られており、今後も国において積極的にリサイクルの法整備をされるよう要望し、また市内事業者にも積極的にリサイクルに取り組むよう働きかける等の施策を実施するよう提言いたします。</p>	
<p>④収入と支出(処理費・事業費等)の内訳および用途の公開について(P16)</p>				
91	1	<p>ごみ袋無料配布廃止にむけての要望事項 1. 今まで無料化していた物の料金(税金)と、有料化したら袋代の収入額で市収入は2重取りのように思うが。浮いた税金(配布袋代金)は、どの様に使われるのか。また市販の袋代金をどの程度処理に使用されるのか説明が不足している様に思う。</p>	<p>行政サービスを受ける市民の皆さんが負担していただくものには、応益負担(受益者負担)と応能負担とがあります。ごみ袋の有料化は、ごみのお出さす量に応じた負担もしていただく受益者負担の考えによるもので、二重の負担ではないと考えています。 また、ごみ分別・処理経費やごみの減量・リサイクルの情報を市民に提供するように、市に提言します。</p>	

(6)有料化(単純従量制)の導入時期および緩和措置について		
①有料化の導入時期について(P15)		
9	1	<p>率直に申しますと、ゴミ袋が有料化するのには反対です。今、世の中は不景気でどの家庭も毎日のやりくりで頭を悩ませている毎日です。そんな中有料化し、家計に更なる負担がかかるのは苦しいです。環境問題が騒がれているのは十分に分かってはいます。もう少し世の中の情勢が落ち着いてから、見直しを検討された方がいいと思います。</p>
		<p>パブリックコメントの資料にも記載いたしましたとおり、有料化の導入時期は、社会経済情勢を考慮して判断するよう市に提言いたします。</p>
②既存袋の使用期限について(P15)		
73	1	<p>ゴミばかりが増える昨今、出し方、負担について見直すことは当然だと思えます。決まればガイドに沿って守りますが有料になるゴミ袋なので今支給されてる袋は使い切りたいです。一定期間だけの使用許可でなく手持ちがある間は使ってもよいしてほしいです。前回(何年か前)のゴミ袋変更になった時も使い切れずに残ってしまいました。残れば何らかの方法で処理しなければなりません。もったいないと思いませんか？ご考慮いただきたいと思えます。よろしくをお願いします。</p>
		<p>有料化導入後においても、現在使用している種類のごみ袋が類似のごみ種の指定袋として使用できることが望ましいと考えますので、使用期間の検討をいたします。</p>
③余った袋の買い取り、粗品との交換することについて		
11	1	<p>(1) ねらい 我が家では生ごみや樹木の葉っぱ等は別途購入した木酢をコンポストに加えて肥料化しているので、生ゴミ袋の使用は燃料となる物のみですが、一般の家庭では、こうは出来ないと思えますので、例え、ごみ処理用の木酢等に出費をしても不公平とは思っていません。もし減量している者が不公平で無い様にするなら、当初の頃の様に余った袋を石鹼に変える等にしてはどうですか。また、多人数の家族でゴミが多くて袋代に金が掛っても、受益者負担の考えから問題はないはずです。</p>
		<p>余った袋の買い取りや交換については、行政コストの増加が予想されますことから好ましくないと考えます。</p>
14	5	<p>・今現在、税金等で配布されているごみ袋を、各家庭で余った枚数をいくらかで市が買い取る方式になると、ごみ減量につながる。余った枚数分を町内会に入金しても、個人収入にならないため、ごみ減量に無関心になる。がんばった人と、そうでない人の区別をつけてはどうか。 ・一枚〇〇円で買い取る。 ・現在使用しているごみ袋が一定期間使用できるようにします → 買い取ってほしい。今まで個人努力して、ごみ減量を図った為。</p>
		<p>余った袋の買い取りや交換については、行政コストの増加が予想されますことから好ましくないと考えます。</p>

(7)その他			
①有料化に伴うデメリットの十分な調査について			
3	2	<p>単純に有料化にしてゴミ削減とは行かないと思います。ゴミが減少する=個人の消費が落ち込むとなります。</p> <p>ゴミを減少させるには購入を控えるしか方法がないのです。物を購入すれば、ゴミが出る当然の事です。</p> <p>今、国会では個人消費を上げるべく、定額給付金について議論が行われているのは承知の事実です。</p> <p>何度も繰り返しますが、ゴミの量を減らす=購入を控える=地域の消費が落ち込むとなります。</p> <p>デメリットについても十分調査する必要があります。再考を希望します。</p>	<p>ごみ減量には、3R(発生抑制・再使用・再生利用)の実践に心がける必要があると考えられますが、発生抑制として購入を控えることだけでなく、過剰包装のものを買わないことや、買ったものを長く使うこと、使い捨てでなく繰り返し使うこと、できるだけリサイクルできる商品買い、分別を徹底すること等を総合的に実践することであると考えます。また、有料化のデメリットについては、できる限り解消するための方策について検討してまいります。</p>
②減量化に取り組む市民、町内会、事業所への支援策について			
37	2	<p>あとはスーパーなどに食品トレーやペットボトルなどの回収が進むと思われませんが、一方で不法投棄やコンビニや高速道路のパーキングなどに家庭ごみを持ち込む人も増えるというのは以前にも聞いたことがあります。そうした行動に対し、あらかじめ厳しい態度を明確にしておく必要があると思います。私の認識不足かもしれませんが、エコに積極的に取り組む企業、商店などに対し何らかの行政からの後押しがあってもいいのではないのでしょうか？すでにエコバックや食品トレーなどの回収は進んできているわけですし、草津から全国に発信できるお金のかからない取り組みを期待しています。</p>	<p>分別が悪い不適正排出や不法投棄については市に対策を取るよう提言します。また、御提案のエコに積極的に取り組む企業等への支援については、方策等を研究するよう市に提言いたします。</p> <p>実施までに、1年程度の周知期間を設け、住民説明会の開催等で、不適正排出の防止を徹底していきます。ごみの不法投棄対策としましては、定期的に市内を巡回パトロールし、ごみの回収、投棄者の発見や指導に努めています。併せて、市自治連合会にも不法投棄監視パトロールをお願いし、通報があれば迅速な対応を心掛けています。さらに平成21年度からは、市の専任職員が毎日、市内を巡回し、不法投棄の防止や、監視、指導体制を強化します。また、悪質な不法投棄については、警察と協議し、刑事告発をしていきます。</p>
90	2	<p>2. 自治会単位で「ゴミ減らしコンクール」等を草津市で企画し表彰する。表彰基準の例として</p> <p>a. ゴミ回収時にゴミ袋数をカウントしゴミ袋数/戸数の減少度を基準で評価する</p> <p>b. 自治会単位でゴミ収集場所の管理と同時にゴミ量(袋数のカウントをし)減少実績を自己申告制度で評価する。自治会の総力に応援を求め推進する方法等です。以上よろしくご検討お願いします。</p>	<p>自治会単位でごみの減量策に取り組んでいただくことは、非常に有意義なことでありますので、励みとなるような表彰制度などの支援策を検討していきたいと思えます。</p>

③その他(事業系ごみに関して)

112	1 <p>ごみ処理費の住民負担については反対します 我が町内会に自主防災が発足してわずか4年ですが、いまだに消火栓箱にしてもやっと昨年1基購入という状態で機材の充実など望むべくもありません。現在町内会費は月600円。しかるに年金生活者が半数を超え、町内会費を上げることなど不可能。今後ますます重要になってくる近所の助け合い(防犯、防災など)を助長するための費用捻出もままならず、市の助成も含めて、空き缶、古紙等の回収を行い防災フェスティバルや桜まつりなどに充てようとしております。また、町内会館も建設以来22年経過し、修理費がかさむようになり、将来の建て替えに対する積立金も僅かで、費用の捻出の目途が立ちません。それに今回の大不況。みな不安を抱えて生活しているのです。したがって、こういう状況の中での一戸当たり月509円のゴミ袋有料化は絶対に踏み切ってはならない施策と思います。有料化の理由の一つに住民の減量意識が高まらないということがありますが、審議会の資料を見ると家庭系のゴミは減少しております。平成13年から19年では1%減。住民一人当たりに換算すると5%減になっています。それに比べて事業系ごみは11%増になっており、有料化の対象を見誤っているのではないかと考えてしまいます。今や、町内会費も払いたくない、払わなければならないのなら町内会を脱退するという現象や意見が増加してきている状況を真摯に把握され、ゴミ袋の有料化を撤回されるよう強く要望します。</p>	<p>ごみの減量を進めるためには、家庭系ごみと併せ事業系の対策を考えていかなければなりません。 事業系ごみの減量につきましては、ごみ処理基本計画において別途審議中ですので、これの答申において、減量対策を講じいこう市に提言する考えです。</p>	
-----	---	--	--

社会的配慮による無料配布措置等の対応について

1. 紙おむつを使用している世帯

110	2	<p>私は現在、妻・幼い子供2人と暮らしております。子供はまだオムツが外れるには時間がかかります。紙おむつが圧倒的多数を占める現代の状況において、そのゴミの量は非常に多いです。かなりゴミ減量に取り組んでいるほうだと自負しますが、オムツ(本体)だけは如何ともしようがありません。草津市は、京都・大阪の郊外のベッドタウンとしての性格を有し、いわゆる若い世代の世帯が多いと感じております。市も、子育て支援を充実させておられ、子育て世代には暮らしやすい街と感じております。その一方で、現状でも感じますが、今回の高額なゴミ袋になりますと、経済的な負担が非常に大きくなります。少子化対策が国の重要課題となっている現状下、草津市の上記のような性格を勘案すると、逆行するのでは？と危惧します。草津市に転入してきて、子育て世代として、現状でもゴミ袋の負担の高額に驚きました。新しい制度が導入されると、若い世代の周辺市への流出を引き起こし、市の活力低下につながる可能性も否定出来ません。ゴミ袋の全国の負担について調査され、それを基準にした価格体系に改める事を提案します。それが困難なら、社会通念上止む得ない理由でゴミの量が多い家庭(小さな子育て世帯、介護を要する人を抱える世帯等)への負担軽減の措置を提案します。</p>	<p>ごみを出す量は、世帯人数や生活様式の違いで世帯によって異なりますので、ごみ処理費用の負担の公平性を確保するために、ごみの量に応じたごみ処理費用の一部を負担していただくものです。しかし、乳幼児や高齢者等の紙おむつが必要な世帯については、配慮するように提言します。</p>	
-----	---	--	---	--

2. 社会的弱者

80	4	<p>また、ゴミ袋を有料化する事による「増税」は、一律に生活に困られている方々にも、影響します。これはどのようにお考えですか？</p>	<p>ごみ処理手数料(ごみ袋料金)の減免等社会的配慮の必要な対象の範囲および内容については、検討します。</p>	
----	---	---	--	--